

## 「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2017年度後期分）

2017年 6月21日

計画研究班名： A03-5 北太平洋の海洋低次生態系とその変動機構の解明

申請者氏名・所属・職名：原田尚美・海洋研究開発機構・研究開発センター長代理

申請者連絡先 電話・メール：046-867-9504・haradan@jamstec.go.jp

対象者氏名・所属・職名：関宰・北海道大学低温科学研究所・准教授

対象者連絡先 電話・メール：011-706-5504・seki@pop.lowtem.hokudai.ac.jp

相手先氏名・所属・職名：原田尚美・海洋研究開発機構・研究開発センター長代理

相手先連絡先 住所・電話・メール：横須賀市夏島町2-15・046-867-9504・haradan@jamstec.go.jp

申請項目（複数可、数字を記入）：3, 4

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：北太平洋高緯度域における近年約20年間の一次生産の変遷

成果報告要旨（A4数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること）：

2017年6月12日から15日までノルウェーのトロムソで開催された、2017

**Ecosystem Studies for Sub-Arctic and Arctic Seas (ESSAS) Open Science Meeting**

(OSM)に参加し、OMIXの研究成果を紹介するセッション“Advection and mixing and their ecosystem impacts”にて口頭発表を行った。講演では、北太平洋亜寒帯域に係留した時系列セジメントトラップにて捕集した沈降粒子中の藻類バイオマーカー分析から復元した近年の円石藻と珪藻のバイオマス比率の変動を示し、その変動パターンと原因について考察した。また、北半球高緯度における近年の一次生産の生態系の変化に関して、共同研究者や海外の研究者と意見交換した。

全体計画・計画研究への寄与：

今回得られた時系列セジメントトラップのバイオマーカーの結果について専門家と議論した結果、より説得力のある解釈が導き出すことができた。近年の気候変動と海洋混合、生態系のリンクに関して新たな知見が得られ、全体計画・計画研究の進展に貢献するものと思われる。

制度の改善点・感想等：

特になし。

実際の日程：

2017年

6月11日 札幌発・トロムソ着

6月12-15日 トロムソにて会議（ESSAS OSM）に参加し研究発表。

6月16日 トロムソ発

6月17日 札幌着

使用した予算内訳（旅費とその他の経費に分けて記述）：